

一般職試験（大卒程度試験）

2025 - 2026

農林水産省 植物防疫所

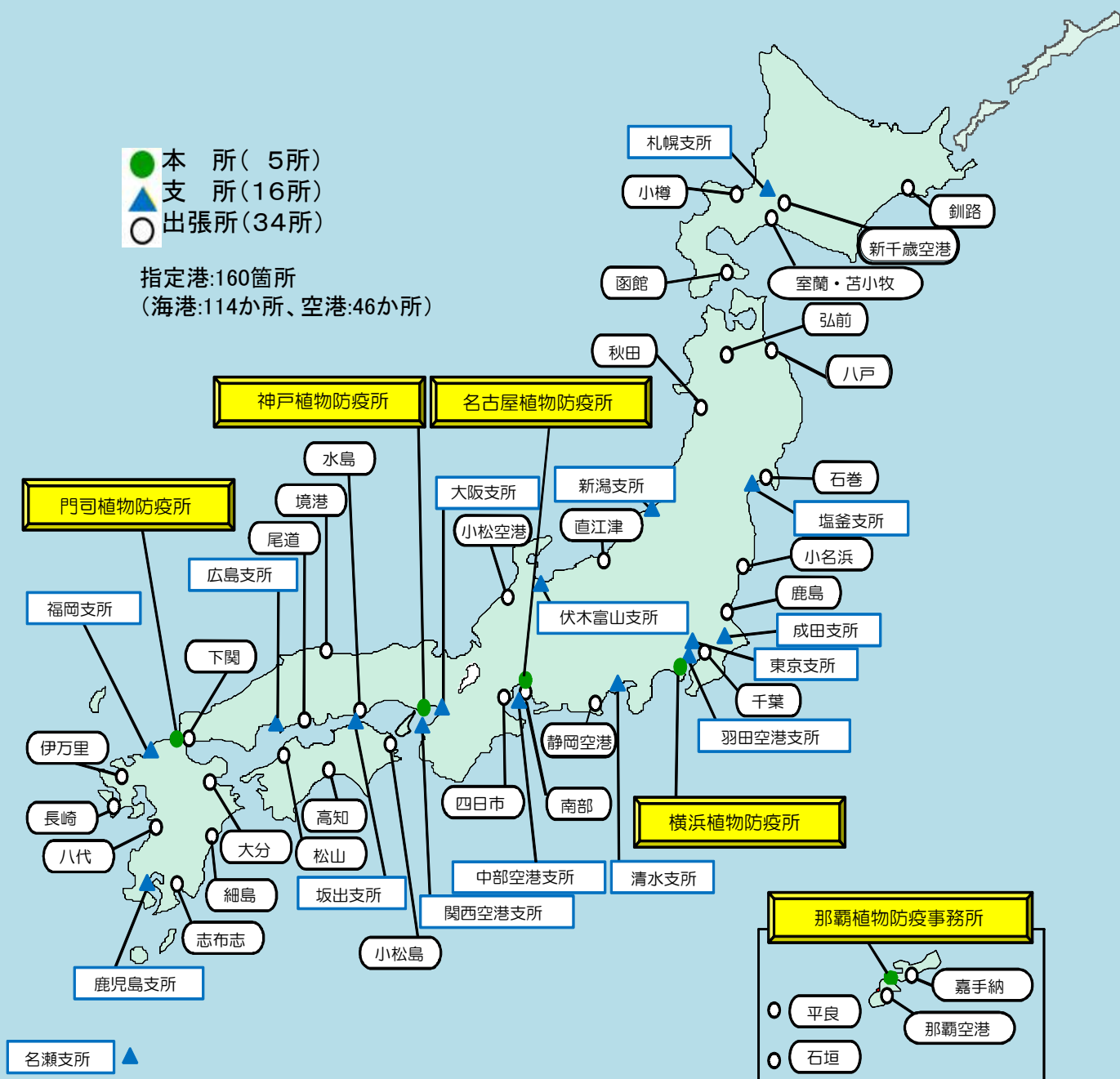
採用案内

技術系（農学・化学・林学）



農林水産省
植物防疫所

植物防疫所の所在地一覧



【植物防疫官数の推移】

年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
植物防疫官 (人)	972	978	984	984	984

採用スケジュール



採用予定数

一般職試験（大卒程度試験）【農学・化学・林学区分】

採用予定時期	採用予定人数
令和8年4月1日 (一部 令和7年10月1日)	40名程度 (うち若干名)

(参考) 過去5年間の採用状況（一般職試験（大卒程度試験）【農学・化学・林学区分】採用、（うち女性））

人事院試験 実施年度	2020年度 (2020.4.2～ 2021.4.1)	2021年度 (2021.4.2～ 2022.4.1)	2022年度 (2022.4.2～ 2023.4.1)	2023年度 (2023.4.2～ 2024.4.1)	2024年度 (2024.4.2～ 2025.4.1)
採用者数	45 (29)	40 (21)	37 (25)	43 (28)	32 (15)
うち4月以前採用	3 (1)	4 (4)	5 (1)	3 (1)	3 (1)



採用スケジュール

「業務説明会」、「官庁訪問（採用面接）」等の日程や参加方法等の最新情報は、植物防疫所ホームページをご覧ください。
日程が決まりましたら、ホームページから参加の事前予約を受け付けます。



※**オレンジ色**は人事院、**緑色**は植物防疫所（農林水産省）が実施主体です。



※官庁訪問の日程は現時点では未定です。
決定次第ホームページでお知らせします。

給与・勤務条件等



給与・勤務時間等

初任給等について

基本月額220,000円（学部卒）〔230,000円（修士卒）〕が支給されるほか、諸手当（扶養手当、地域手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当、単身赴任手当等）が支給されます。これはどの省庁でも原則同等です。

この他、年に2回（6月と12月）賞与（ボーナス）として、期末手当、勤勉手当が支給されます。また、年1回の昇給があります。

勤務時間について

通常の勤務時間は、8時30分～17時15分です。

大都市部で時差通勤を実施している官署では、① 8時30分～17時15分、② 9時00分～17時45分、③ 9時15分～18時00分の3タイプがあります。成田支所、羽田空港支所、中部空港支所、関西空港支所などでは夜勤を含む交替制勤務となっています。

各種休暇等について

年次休暇(有給)は年間20日（採用初年は15日（4月採用の場合））です。年次休暇は最大で20日まで翌年に繰り越してできます（この場合、年間最大40日となります）。

このほかに、特別休暇（結婚休暇5日、夏季休暇3日等）、病気休暇があります。

※公務員の給与・勤務時間等は、毎年、人事院が民間企業等を調査した結果等を踏まえ行われる「人事院勧告」に基づき、改定が行われます。

例えば、令和6年度の場合、人事院勧告で給与の引上げの勧告があったことで、4月に遡って給与が増額改定されました（増額に伴い差額の支給がありました。）。

このように、民間企業での賃金の動向は、間接的に公務員給与にも影響を与えます。



両立支援制度の取組

男性・女性ともに、子供を養育する職員や家族を介護する職員が利用できるワークライフバランスの実現に向けた両立支援制度が整備されています。

植物防疫所は子育てと仕事の両立支援職場のモデルとなることを目指しています。

植物防疫所における育児休業等の取得状況

育児休業取得率は、女性100%・男性100%（令和5年度）となっています。特に男性の育児休業取得率は、全省庁平均80.9%（令和5年度）と比べても高くなっています。

男性職員が配偶者の出産等に伴い取得できる休暇の取得率は、配偶者出産休暇は100%、育児参加のための休暇は90%（令和5年度）となっています。両制度を合わせた5日以上取得率は70%となっています。



研修

研修の体系

組織の財産は「職員」です。植物防疫所の職員には、行政執行能力、業務に必要な技術力、問題解決・情報分析能力、語学力等が求められます。

このため、農林水産省職員としての研修に加え、「植物防疫所研修センター」（横浜市）を活用した植物防疫所独自の体系的な研修を行っています。

このほかに、職場内でもゼミナール、講習会を随時行っており、採用後、業務に必要な技術・知識を身につけることができます。

	植物防疫所	農林水産省全体
採用年	植物防疫所初任者研修	採用者研修
3～5年	植物防疫官フォローアップ研修 【植物防疫官発令2年目】	係長養成研修
5～15年	植物防疫官専門研修 (海外検疫コース) (高水準外国語コース)	係長フォローアップ研修 課長補佐等養成研修 課長補佐等フォローアップ研修
20年～		管理者研修、幹部研修
植物防疫官 発令後随時 (希望者のみ)	植物防疫官エキスパート育成研修 【植物防疫官発令4年目以降】 (害虫コース) (植物病理コース) (線虫コース)	

※海外での研修

人事院やJICA（独立行政法人国際協力機構）が主催する海外留学や国際機関への派遣等の研修にも応募できます。

～植物防疫所主催の研修模様～



フォローアップ研修



専門研修（海外検疫コース）

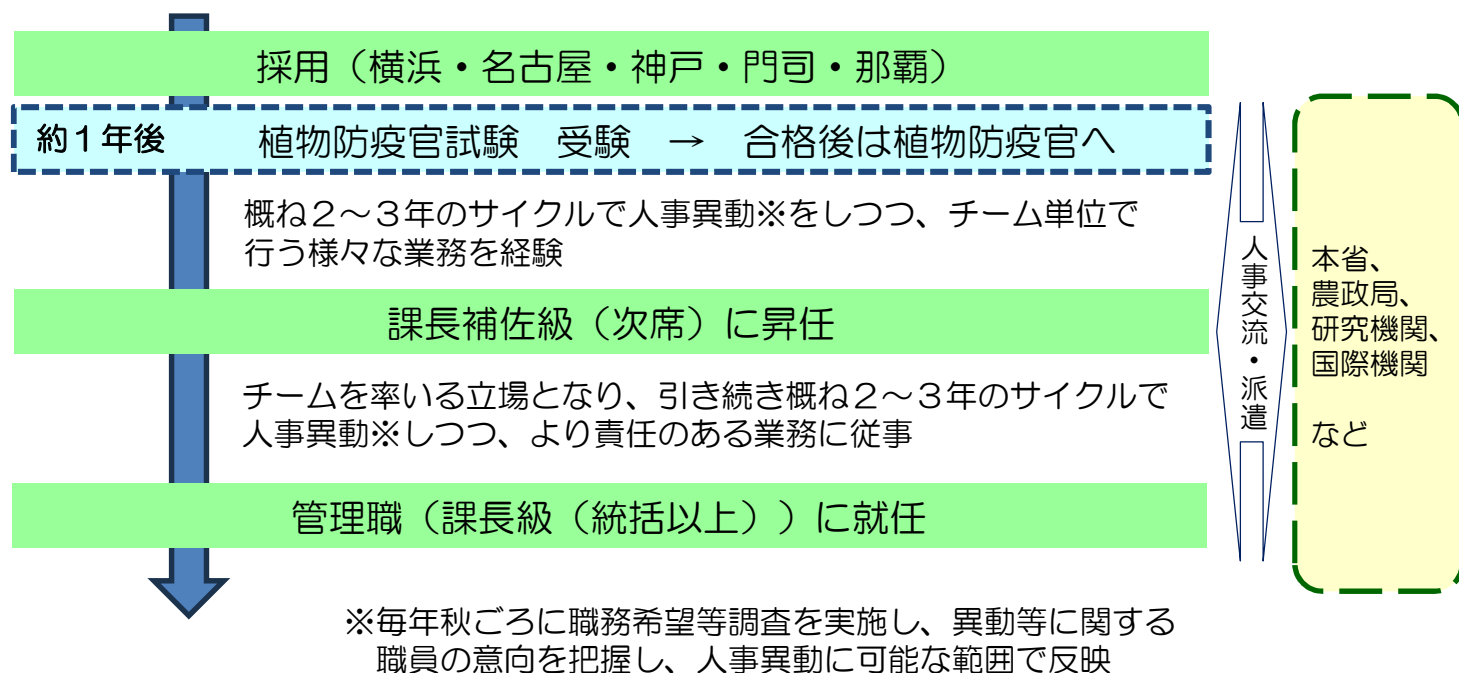
採用後のキャリアパス



配属・配置換等

職員として採用後、1つのポストに概ね2～3年といったサイクルで人事異動があり、各業務を経験することになります。また、当初配属された植物防疫所の管轄地域内のみならず、全国の植物防疫所での勤務、農林水産本省などに出向し、植物防疫や農林水産行政の企画・立案等を担当するなど、幅広く活躍する機会が多くあります。

各勤務地には宿舍が整備されています。



その他

海外出張

条件付輸入解禁植物の消毒確認業務等のため、20数か国に年間70人～80人の職員が1週間から4か月程度出張しています。

このほか、短長期の国際会議が開催されており、経験等に応じて参加し、諸外国と交流できる機会が多くあります。

海外勤務（派遣を含む）

上記の海外での研修のほか、F A O（国際連合食糧農業機関）等の国際機関での勤務や外務省に出向して在外公館勤務の機会があります。

試験研究機関への派遣

国内の農業関係試験研究機関に出向する機会があります。出向期間はおおよそ3年程度で、昆虫学、植物病理学等の植物防疫業務と関係が深い分野の研究室に配属されて、基礎から応用までの幅広い分野の試験研究業務に従事します。

先輩職員からのメッセージ

名古屋植物防疫所 本船貨物検疫担当（名古屋市港区） 勤務
令和3年度入省（農学）



輸入青果物の検査風景



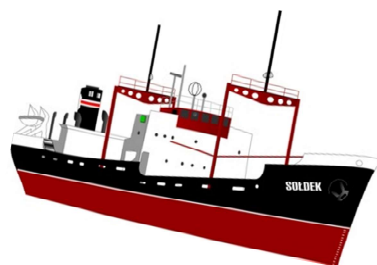
私が現在勤務している本船貨物検疫担当は、専用船に積まれてくるバナナ、パイナップルなどの青果物、ダイズ、トウモロコシなどの穀類の検査を主に行っています。これらの検査を的確に行うために、検査に先がけて検査申請書や関係書類等で輸入品目の数量やその輸入条件の確認を行ったり、検査後には合否判定を出すために検査で発見した病害虫の判定を行ったりしています。また、海外から侵入した病害虫が発生していないか輸入港周辺における病害虫の発生状況を調査するなど、様々な業務があります。これらの検疫業務は悪天候中でも作業を行うことがあり、つらい面もありますが、日本の農業を危険な病害虫から守ることを目的とした重要な仕事であり、日々やりがいを感じています。

現在は植物検疫のエキスパートとなるため勉強中ですが、入省1年目には初任者向けの害虫・病菌・線虫・法令の研修があり、害虫の識別方法や病菌や線虫の検出方法など、必要な知識や技能を学習できます。また困ったことや気になることは職場の先輩がわかりやすく丁寧に解説してくれるため、安心して業務に励むことができます。

最後にこれから就職活動を行う皆様へ、伝えたいことがあります。自分の得意分野以外の職種・分野であっても、一度は見聞きして自分がどのように感じたかを考えてほしいです。様々な経験を積むことで、自分自身のことをより知るきっかけにもなり、本当にやりたいことが見つかると思います。植物防疫所では業務説明会やインターンシップを開催していますので、ぜひご参加ください。

1日のスケジュール

- 08:30 検査準備
- 09:30 検査（バナナ・パイナップル）
- 12:00 昼休み
- 13:00 検査で発見された病害虫の識別
- 15:00 検査終了後の申請書等の書類の確認
- 16:00 その他種々の書類の確認
- 17:15 業務終了



横浜植物防疫所 成田支所 第1PTB旅客検疫担当（千葉県成田市）勤務 令和3年度入省（農学）



植物検疫カウンターでの輸入検査風景

私は、毎日、世界各国から多くの方々が入国される日本の玄関口である成田国際空港で旅客検疫業務に従事しています。旅客担当の業務は、携帯品として輸入される植物等の検査、携帯品や郵便物として日本から輸出される植物等の検査、病害虫の侵入調査、植物検疫の広報活動など多岐にわたります。

特に輸入検査業務は、海外から入国するお客様が手荷物として持ち込む植物に付着して病害虫が日本に侵入することを防ぐ重要な仕事です。世界各国からお客様が入国されるので、日本の植物検疫制度の説明等が難しいこともありますが、先輩方の対応を見て日々勉強しています。日本への侵入が特に警戒されている害虫や日本では見かけない植物を目にすることもでき、とても面白い職場です。また、出国ロビーでの広報活動や小学校での植物検疫紹介教室を通して、植物検疫の重要性を伝える活動も行っています。

専攻外の分野であっても、興味を持ったことに挑戦してみることで、新たな発見があるかもしれません。学生時代に昆虫や病菌を専攻していない方でも、採用後には研修もあり、経験豊富な先輩方に相談できる環境なので、心配ありません。興味を持たれた方は、ぜひ業務説明会や官庁訪問に足を運んでみてください。また、YouTubeの「ピーきゅんチャンネル※」でも職場の雰囲気を感じていただければと思います。皆さんと働く日を楽しみにしています。



※編集者注：【BUZZMAFF】ピーきゅんチャンネルは、現在「ピーきゅんTV」にリニューアルしています。ピーきゅんチャンネルの過去配信動画は、BUZZMAFF Channel アーカイブスから閲覧できます。

<https://youtube.com/playlist?list=PLVc03uX0lwZsWtS3T38iTam8m4tGJPToB&si=49FQFwpyJkHDulr>



1日のスケジュール（空港シフト勤務）

- 08:30 業務開始、植物検疫カウンターにて輸入検査
受信メール確認、輸入禁止品等の廃棄処理、病害虫の寄生調査
- 12:00 昼休み
- 13:00 輸出検査、問い合わせ対応、広報活動
- 17:00 業務終了



那覇植物防疫事務所 輸入検疫担当（沖縄県那覇市）勤務 令和6年度__植物防疫所転入（農学）



輸入青果物の検査風景



私は現在、輸入検疫の業務に従事しています。

主な業務は郵便物検査で、海外から送られてくる郵便物を那覇中央郵便局にて郵便局員立会いの下、開梱し、植物の検査を行っています。検査する植物は、種子、苗木などの栽培用植物類、穀類、豆類、漢方薬、香辛料など様々です。これらの植物が輸入禁止品でないか、輸出国政府が発行した検査証明書が添付されているか、輸入条件に合致しているかなどの確認を行うとともに、病害虫や土の付着の有無などの検査を行います。見慣れない植物も多く、日々の検査が勉強になっています。この業務に就くまでは、国際郵便物にこれほど多くの輸入できない植物が含まれているとは知りませんでした。水際で日本の農業が守られていたこと、現在その守りの一端を担っていることを思うと誇りに思うとともに、身が引き締まります。

郵便物検査の他には、那覇港に寄港するクルーズ船の携帯品検査や、業務区分をまたいで他担当のお手伝いをする機会もあり、様々な経験を積むことができます。

植物防疫所の魅力の一つは業務の幅広さだと感じています。検査の合間や移動時間に聞く先輩方のお話には、これまでの業務で遭遇した珍しい事例や、海外検疫でのトラブルなどがあり、怖くもおもしろくもあり勉強になります。様々な業務があり、話題には事欠かない職場です。ご興味のある方はぜひ説明会やYouTubeで生の声を聞いたり雰囲気を感じてみたりしてはいかがでしょうか。

1日のスケジュール

08:30 業務開始、メールチェック

09:00 那覇中央郵便局にて国際郵便物の輸入検査

11:00 事務所に帰り、検査結果の整理

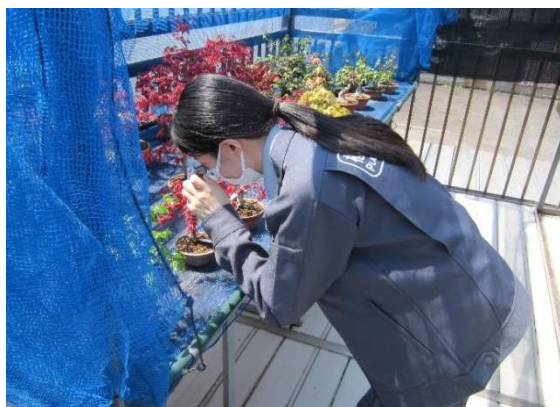
12:00 昼食

13:00 検査で発見された害虫の同定、問い合わせ対応、申請書の確認等

17:15 業務終了



神戸植物防疫所 業務部 輸出検疫担当（神戸市中央区）勤務 令和4年度入省（農学）



EU加盟国向け盆栽の検査

私は輸出検疫担当に所属しています。輸出検疫担当では、日本から海外へ輸出される植物等について、輸入国が要求する検疫条件に適合しているか検査を行っています。実際には農林産物の集荷地や栽培地に出向いて病害虫の付着がないか確認する目視検査、苗や種子に付着する菌の培養検定、ウイルス等に感染していないかを確認するELISA検定を用いた精密検査や線虫検査など、様々な方法で輸入国の検疫条件に適合しているかを検査します。また、海外へ植物を輸出する際に日本へ求められる検疫条件を確認するため、諸外国の法令等を調べる業務もあり、英語をはじめとした様々な言語を翻訳します。

栽培地での検査では、神戸市から京都府や滋賀県など遠方にあるほ場まで出向いて栽培中の植物を検査します。写真は京都市内のほ場でEU加盟国向け盆栽の検査を行っているところです。この検査は定期的に行っており生産者の方と直接触れ合う機会も多いため、日本の農林産物の輸出に貢献する業務としてのやりがいを実感します。

植物防疫所には様々な業務があり、私は今の担当に異動する前は空港で旅客検疫業務に従事していました。異動した当初は全く異なる業務に戸惑いもありましたが、いち早く業務を習得するために日々奮闘しています。同じ組織の中で所属する担当ごとに様々な経験を積む機会があることも植物防疫所の魅力の一つだと思います。植物防疫所の仕事に興味を持たれた方は、業務説明会やインターンシップ等にぜひ足を運んでみてください。



1日のスケジュール

- 08:30 業務開始、メールチェック等
- 09:30 栽培地検査
- 12:00 昼休み
- 13:00 申請内容の書類審査、輸出照会対応等
- 17:15 業務終了



門司植物防疫所 国内検疫担当（北九州市門司区）勤務 令和6年度入省（農学）



侵入警戒トラップ調査の様子



私が勤務している門司植物防疫所国内検疫担当では、侵入調査や防除対応などを行い、重要病害虫の早期発見及び迅速な防除を行うことで、国内に侵入・発生した有害動植物のまん延を防止しています。門司植物防疫所が管轄している九州一円は地理的に中国や台湾に近いことから、重要病害虫が飛来する危険性が高い地域です。近年では、九州南部を中心に果物や果菜類に大きな被害を与えるミカンコミバエ種群が飛来する事例が増え、各県と連携して防除を行っています。

私は現在、植物検疫について勉強中であり、現地での調査や防除に参加したり、広報活動を行ったりと、様々な経験をさせていただいています。分からないことや困ったことがあれば、職場の先輩が丁寧に教えてくださるため、安心して取り組むことができます。自分にできることが増えるたびに、仕事にやりがいを感じています。

植物防疫所の業務は、国内検疫の他にも、輸出入検疫、海外検疫、広報、調査研究など幅広く、さらに同じ国内検疫でも地域によって業務が異なるなど、配属された場所でしかできない経験があることが魅力の一つだと思います。植物防疫所の仕事に少しでも興味を持っていただけた方は、業務説明会やインターンシップにぜひ参加してみてください。また、YouTubeの「ぴーきゅんTV」でも仕事内容や職場の雰囲気を知ることができますのでぜひご覧ください。

1日のスケジュール

- 08:30 業務開始、メールチェック等
- 09:00 調査準備
- 09:30 侵入調査
- 12:00 昼休み
- 13:00 誘殺された虫の同定
- 15:30 調査結果や対応事例の取りまとめ事務
- 17:15 業務終了



事務所の車を運転して調査へ！！



栽培植物の管理の様子



私は調査研究部の病菌担当に所属しています。調査研究部では、輸出入・国内検疫の場面において必要とされる、病害虫の検査・検出、同定診断、消毒等に関する技術の開発・改良、それらに係る情報の収集を行っています。新しい技術を取り入れながら、より効率的な植物検疫の実現のために日々努めています。

病原体の場合、感染していても肉眼では確認できないことがあり、気づいた時には広範囲に拡大していることがあります。一旦広まってしまうと、その防除は容易ではないため、検疫では未発生地域への分散を防ぐことが重要であり、移動時に確実な検定を行う必要があります。調査研究部で検討した検定方法は、全国の植物防疫所に共有されるため、重圧も感じますが、その分、気合も入ります。まだまだ知識不足で困ることも多いですが、頼れる先輩方に相談しながら日々奮闘しています。

一口に植物防疫所と言っても、内部には多様な仕事があります。私自身、現担当に異動してくるまでは港で検査をしていたので、最初は業務の違いに戸惑うこともありました。特に調査研究部は港や空港の検査現場と異なるのですが、どこでも配属された場所でしかない経験がたくさんあります。私がお伝えできるのはほんの一部ですが、皆様が働く姿をイメージする助けになれば嬉しく思います。植物防疫所の仕事に少しでも興味を持っていただけた方は、業務説明会やインターンシップにも是非参加してみてください。

1日のスケジュール

- 08:30 業務開始、メールチェック、栽培している植物の管理
- 09:30 植物からの核酸抽出
- 12:00 昼休み
- 13:00 PCR検定、関連文献の調査
- 16:00 実験結果のまとめ、担当上司と今後の方針の相談
- 17:15 業務終了



参考コラム：ぴーきゅんTV配信中！

農林水産省では、職員がその人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農山漁村の魅力を発信する動画チャンネル「BUZZ MAFF」を開設しており、植物防疫所においても、植物防疫所の職員がぴーきゅんの可愛さと植物検疫の情報をお届けする「ぴーきゅんTV」を絶賛配信中です。

立候補すれば、あなたも配信者になれるかも！？

～主な配信タイトル～

- ・ 植物持出し規制ラップ
- ・ 福岡支所職員の休日～若手公務員のリフレッシュ術～
- ・ 植物防疫官として働くぴーきゅんに密着！港編

など



←アクセス
はこちら



前身の「ぴーきゅんチャンネル」も、引き続きアーカイブ配信中です!!

数多のコンテンツが大集合！今後も、続々と配信予定！！

植物防疫所の採用に関する お問い合わせ先

『植物防疫所 採用』
で検索してね！

植物防疫所公式キャラクター
『びーきゅん』



横浜植物防疫所

担当係：総務部庶務課人事第1係 TEL 045-211-7150
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内

名古屋植物防疫所

担当係：庶務課人事係 TEL 052-651-0111
〒455-0032 名古屋市港区入船2-3-12 名古屋港湾合同庁舎内

神戸植物防疫所

担当係：庶務課人事係 TEL 078-331-2806
〒650-0042 神戸市中央区波止場町1-1 神戸第2地方合同庁舎内

門司植物防疫所

担当係：庶務課人事係 TEL 093-321-1404
〒801-0841 北九州市門司区西海岸1-3-10 門司港湾合同庁舎内

那覇植物防疫事務所

担当係：庶務課庶務係 TEL 098-868-0715
〒900-0001 那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎内



植物防疫所
ホームページ



農林水産省YouTube公式チャンネル
【BUZMAFF】びーきゅんTV

